国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

付喪神記

別 7
562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

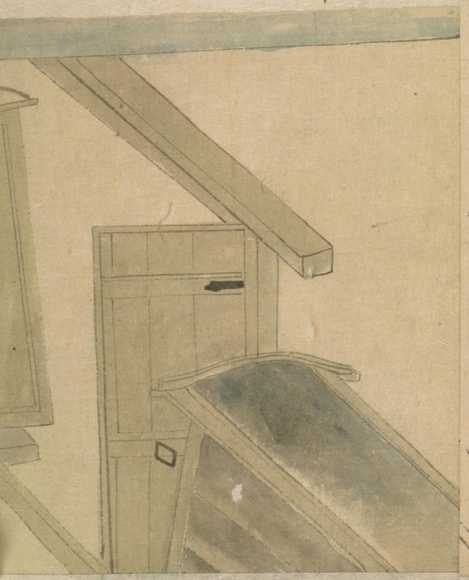
別7
562

昭和十二年

26. 6. 5

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



別置
7
562

三番

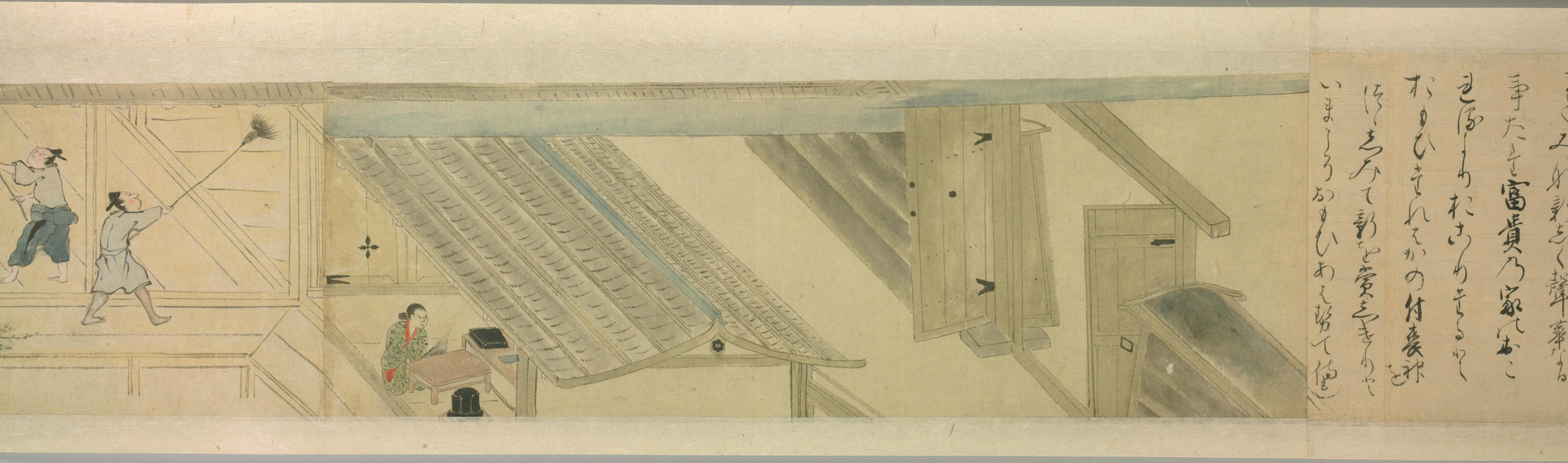
付喪神記

判紙補光信筆

内閣文庫本

住之江文庫
内閣文庫本

陰陽雑記云器物百年経過て
化して精霊を得て人の心を誑
かすこれを付喪神と号すと
いへり是よりこのかた
世俗毎年立春有さきだて
人家の煤払を行ふ事
踏歌よりおこれる事歟
雑器をふるひ百年の一
夜たゝりの付喪神乃災難を
あはれとなり又あらまし
め掃物乃火をたき
むそひ夜ゝ
まくみれ新志く
事たゝ富貴乃家て
也ことあれおさまるやう
おもひきれかの付喪神
ゝ
ゝ
ゝ


事たを富貴乃家におこ
ほ屋よりおさりきるゆゑ
おもひきれたかの付喪神を
法しみて新を賞しきりて
いまこそおもひあたり候て

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

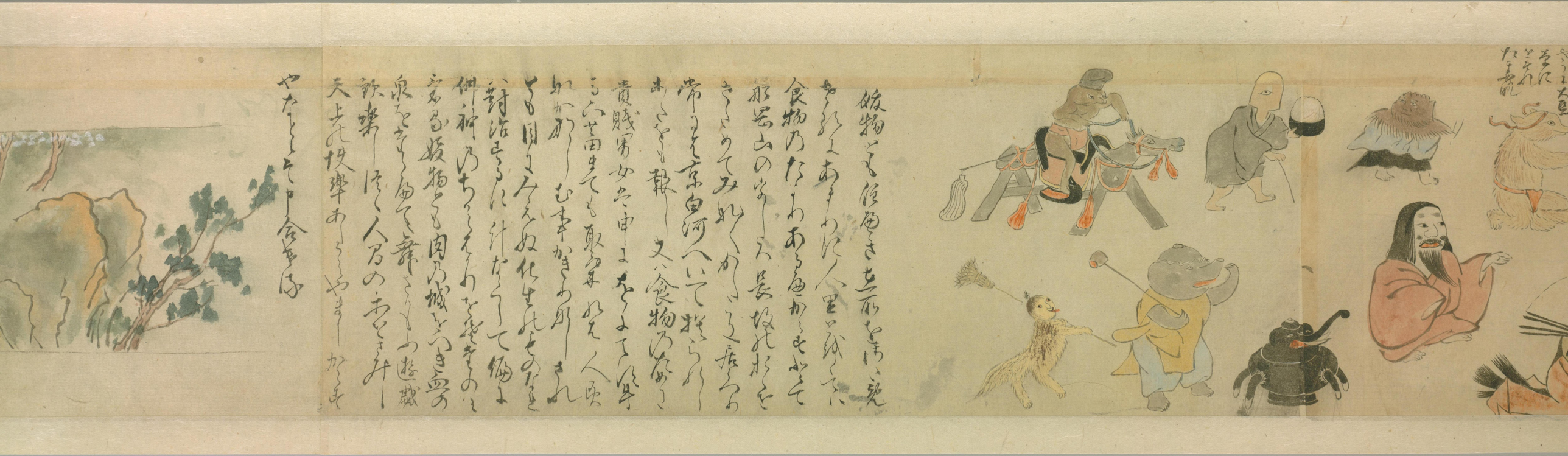
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

既に死なんとする者を
助けんと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

花驚褐皷一時開
今宵共奏春光好
永使茲身不化埃

題同

蛛簾影動落花春
胡蝶成媒惱美人
人似姣紅如一夢
須傾鸚鵡酒霑脣

或時姣物乃中ノ申事ハ我も
夫吾胡ハ本よりの神國にて人
みれ神道を信じたてまつる我
にてこ形を造化神よりけるゝ
彼神をあらたにてさらさ雖事
ん為ハ木石ハ此をし今よりの志て
此神を氏神とけるめて如此礼
奠をいたけも運命むけしく
保て子孫繁昌せむ事うたひ
あらしてやうて此山の奥に社壇
をなてゝ石を変化大明神
と号しあてさつる立烏帽子の
祭文ハ人ハ樽を神をとし小袖ハ
八乙女手拍子の神楽男なれ
けるを見をきて胡ハいのわ夕ハ
さつの申事 猶思不吾ハ姣物
と丸申ありし信ニ示さしてさ大
けし 示ハ盗跡ハ五常ハ法ニ
れ以ハ法ハ

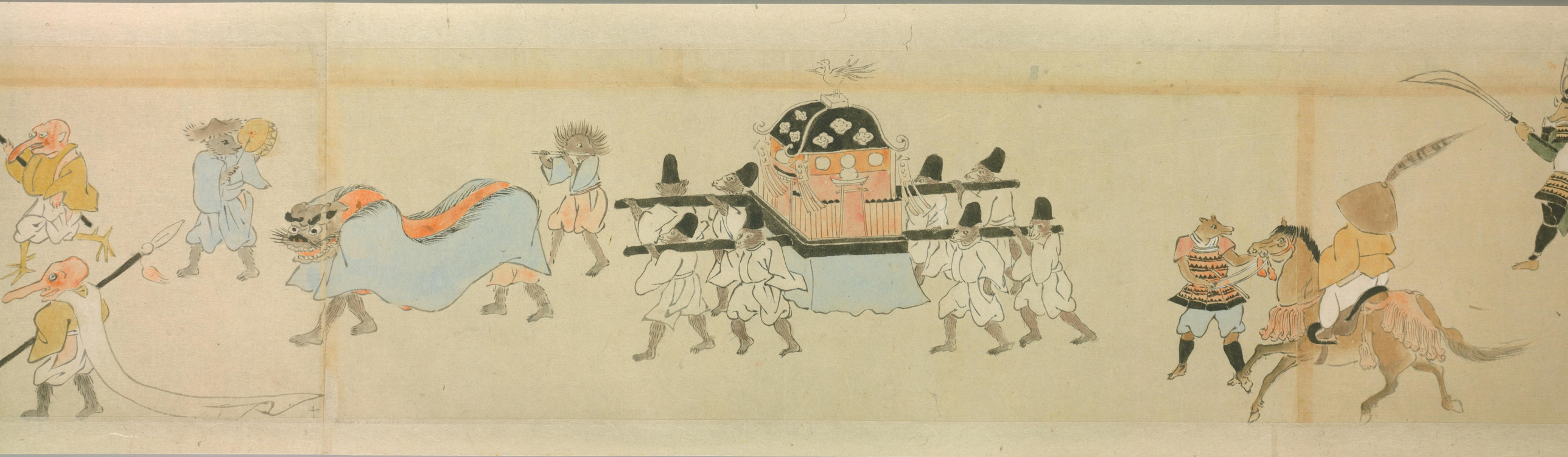
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

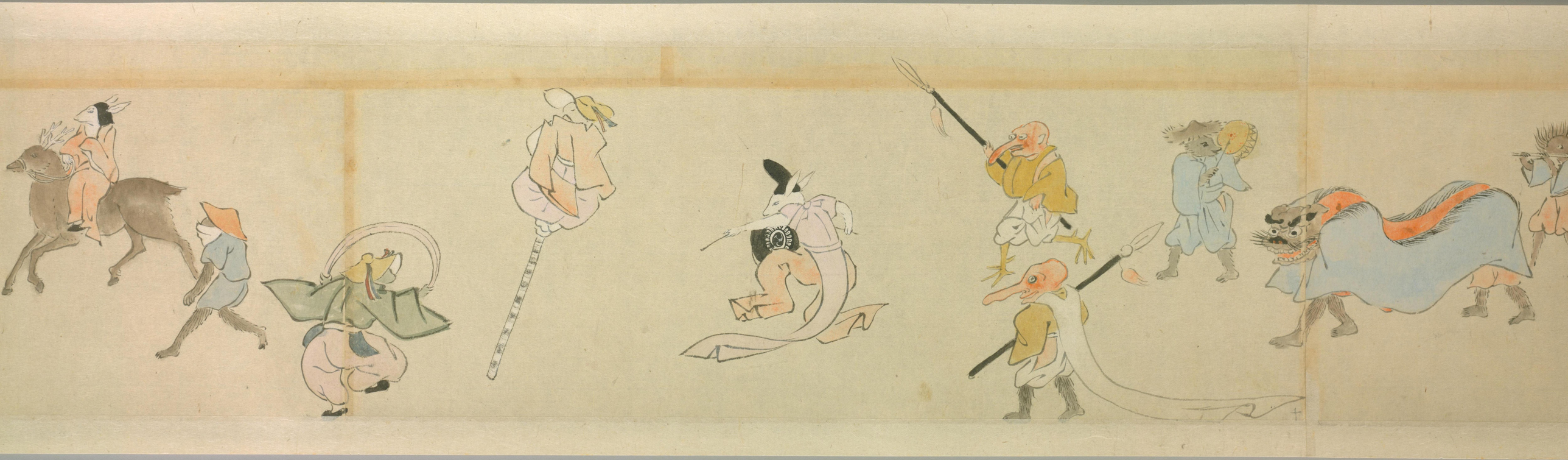
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

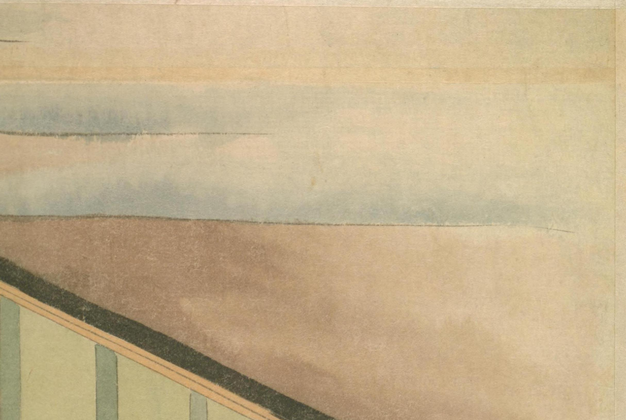
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

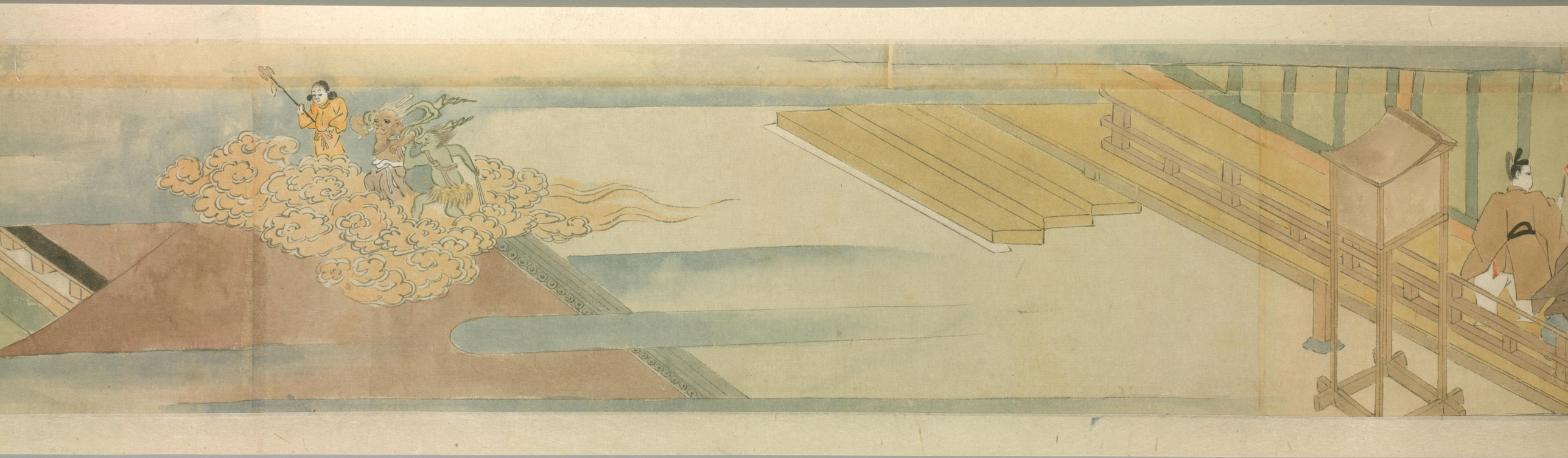
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

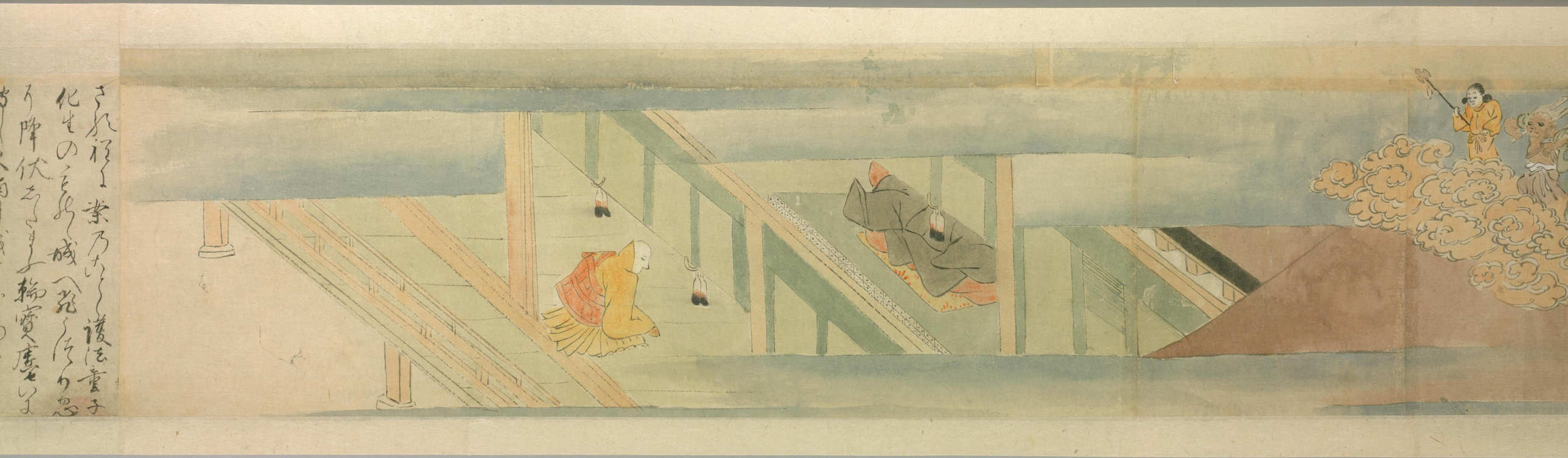


国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

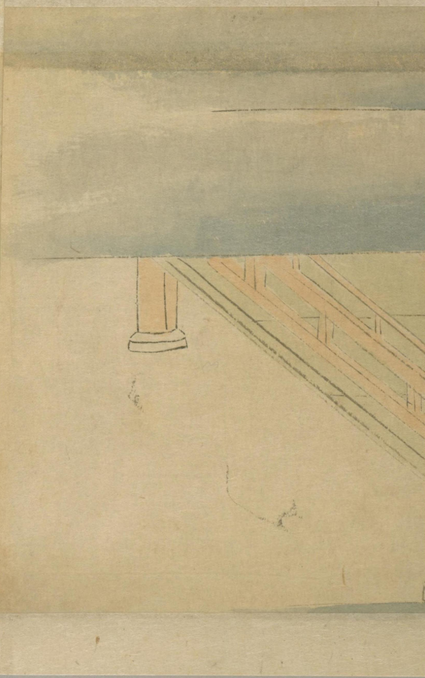
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562



国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

其後娘物ハ一所ニ居ル人ニて
冥威おうろしくて金のある家
かゝりたるもすくなしも申あひていき
たきゝ居たりの事なりあるに娘物
きるを我お此間おほくはせ類
を殺し邪見放逸なるに依て忽
冥の責を蒙ぬ志ましても遇を
悔ゆ心我が角のみてかゝしをれし
前をたまけ給角のみて一思乃
栄華をなをうて善悦の葉笑
を求ゆしとも事まえはけれ
ともみれ一同に發心せの御ゆ善
知識を頼るにか乃一連こゝ道
学ともに語家にそのひらはる
名道ゆ徳此人を知識とせんし
但去年乃冬和我わるゝ八千家
事ころ心に城しかまとも我に
とし死を悔ゆ心あるをなんぞ
博愛乃なんみなりんとて みれ
皮物を持たりに称なるを

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

一連上人

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

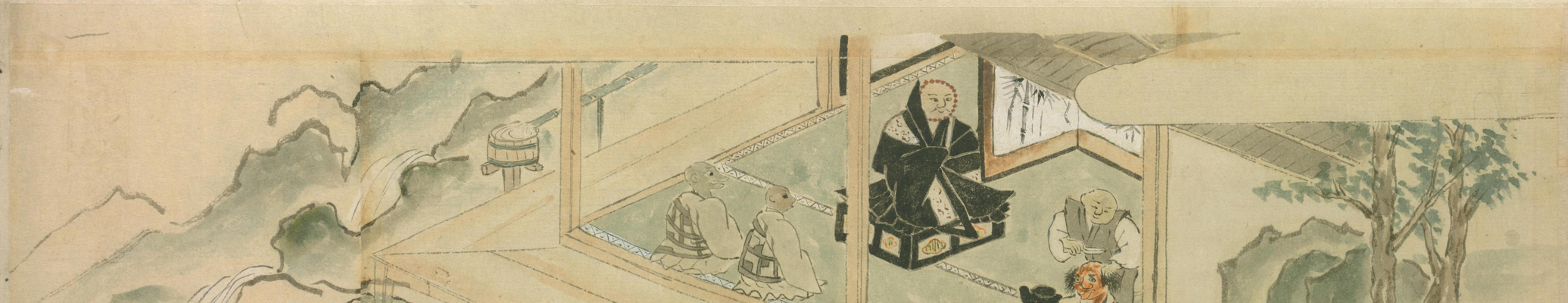
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

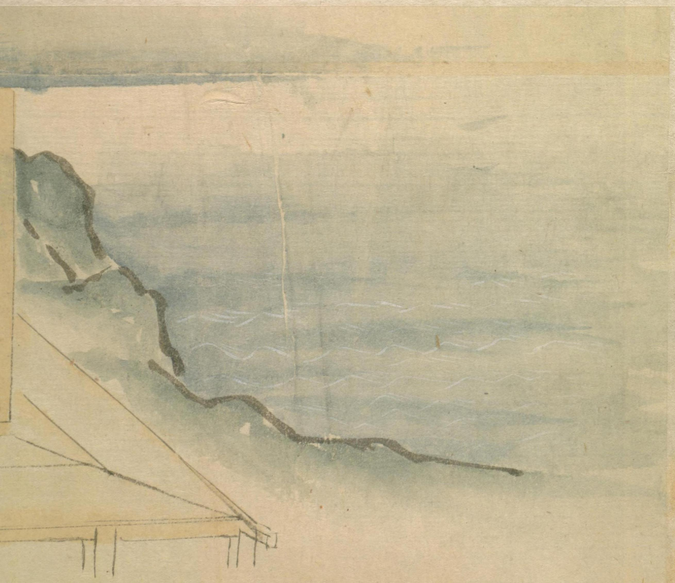
国立国会図書館　　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号　本別7-562



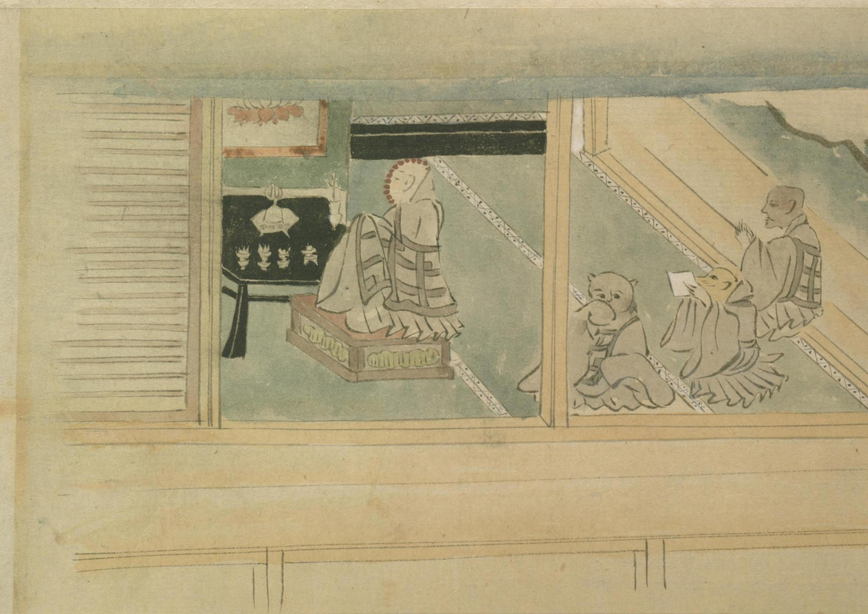
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号　本別7-562

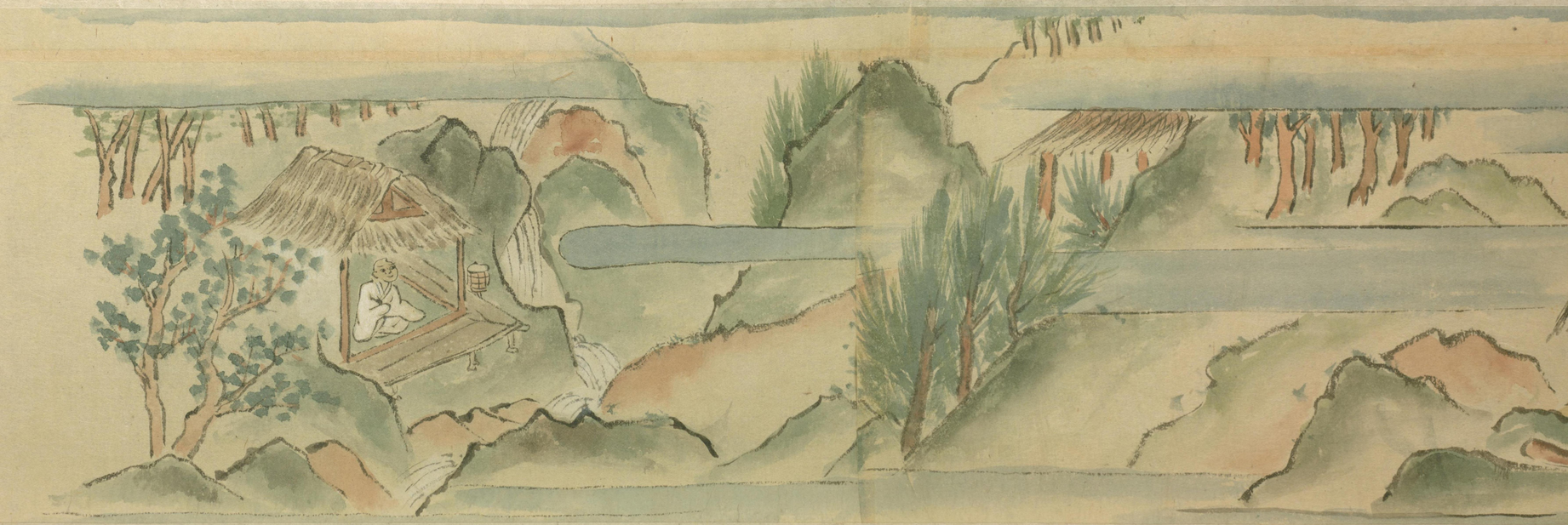
国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

其後諸徳乃中より中いとし
宇多ゑ共往ゑたるひも懈怠
をもとめて勇猛なりし先来之我
教て義解を増ふゑよきかと
も待れ此も尾ゑもれを開憤
乃さいわあわされは經にも入於深
山惟佛道とと宇あすへかゝく
深山遠谷乃中に入て永く世
間乃塩勢を絶て精進浴りを
面しとゆ宇まゑ海とれ絶面
志とて一旦乃なくこわを来てみ
な各別みそ住しをる或は奥山の
岩のゑさまり苔もしろを志き
或ゑ谷深乃松の下ゑ庵をむ
引結て万をとなむ宇家



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

国立国会図書館　タイトル『付喪神記』　請求記号 本別7-562



国立国会図書館　タイトル『付喪神記』 請求記号 本別7-562

金界
法界躰性王如来

夫非情成佛乃義起り至て
天台華厳の両宗末の旨を
論ずといふ事も文理ともに遅遠
にして いまだ言微をまゝ沙事
あらはれ 真言三密の教
旨乃見ひらゝ 其実義を判せ
ず 老子に是によて 錬ぶり無
常に草木成佛といふ事を吾宗
にも草木非情發心 法行成佛
と説せり所謂十界乃依正其
阿字第一命の徳を基定せ
ばいふ事なし 有情にし發心
法行成佛せん非情何を志ゝ
もといけ 今 器物非情成佛
れ因縁をきて 深く密隠伽の
深奥なる事を信ぜしかれ
顕宗の学者のいたゝ 所合の意
りよれ道路屋毛に云れ 鬼神
あて寸深をむなしうまる事れ
いまこの器物乃 妖変を 幽ふ
かなるもかれ 鬼神の 純せ 能なる
屋し 器類豈其性あらんまやかに
いふ事の嗚呼 顕関あらんとせる
これ夫所字の自性情器ひとく
具して 闕減する所なし 何を器
物ひとの他性を 贈て 自分に 勢
むやそし 深意を志らんとれも
たゝ 事く 弱網をのきて 秘宗
可 筆